

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 mikke		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども園内で療育が受けられること。 時間的ロスが発生しない。	こども園職員と一体で支援にあたる。 園と事業所で支援の方向性を常に共有する。	クラス担任と支援者が共同で全体活動の設定を行うなど、支援内容の拡がりや充実に努めたい。
2	集団での姿を見ながら、実践的に支援に繋げることができる点。	集団の中での支援と、個別・小集団支援を、子どもの状況に合わせて臨機応変に行っている。	外部研修等に積極的に参加し、個別・小集団支援のスキルアップや専門性の強化を行う。
3	自然豊かで広々とした、恵まれた立地環境の下、園庭や屋内で伸び伸びと身体を動かして遊び、心身ともに逞しく活動することができる。	全体の活動のみならず、小集団・個別活動においても、運動を意識的に取り入れ、遊びの中での【身体づくり】を行っている。	専門職(OT)と連携し、クラス単位で行う日常的な活動においても、より効果的なアプローチ・支援を実践していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他園の児童の受け入れが難しいこと。	こども園のクラスの中において、集団活動に参加しているところで療育を行うため。	必要に応じ、小規模保育を行う園からの受け入れ等を検討していきたい。(小学校への進学へ向け、比較的人数の多いクラスの中で生活するイメージを持ち、実践的に準備を行う等)
2	事業所内での発達・知能検査の実施が難しい点。	検査を行うことができる専門職の配置ができていない。	新規開設の事業所であるため、職員募集等については、今後力を入れていきたい。
3			